

No.	実施大学	授業科目名	担当教員	単位数	開講区分	曜日	予定回数	時間	実施場所	定員
98	拓殖大学	スペイン語学概論 I	安富 雄平 外国語学部 教授	2	前期	火	13	13:50~15:35	拓殖大学 八王子国際キャンパス	5

#### 【授業の目的及び到達目標】

本講開講の目的は、スペイン語を研究対象として捉え、分析と総合という科学的視点から言葉を研究する姿勢を持って様々な言語現象を解明することの面白さを体験し、学問的言語研究の端緒を開くことである。スペイン語の呈する多様な言語現象を対象としてその特質の解明を試みる。音声学・音韻論、形態論、統語論、意味論、語用論等広範な体系を概観しつつ、言語に対する科学的視野の形成を促す。

#### 【授業内容】

1. 言語の機能とスペイン  
言語のもつ様々な機能を概観し、特にコミュニケーション機能と思考媒体機能との表裏一体の特質について考察する。
2. El lenguaje y la lengua  
La comunicación. コミュニケーションとは何か。言語学における「記号」の意味。言語と個別言語について学ぶ。
3. 言語と個別言語  
El lenguaje. ヒトと動物のコミュニケーション方法の比較と、ヒトの言語の特性について検討する。
4. 言語と個別言語  
La lengua. 言語と知的精神活動との関係について考察する。またヒトの社会性がどのように言語と関わるのかについて考え
5. 言語と人間  
El individuo ante la lengua. 社会的契約としての言語の位置づけを考え、lengua と habla について学ぶ。
6. 文法 La gramática  
La reflexión sobre la lengua. 言語学と個別言語の文法について考える。
7. 世界の中のスペイン語①  
La unidad del español. 現代世界におけるスペイン語とスペイン語文化圏の広がりについて概観し、スペイン語の統一性と重要性について考える。
8. 世界の中のスペイン語②  
世界の言語文化の中でスペイン語はどのような位置を占めるのか、スペインのスペイン語とイタリヤのスペイン語との関係について考察する。
9. スペインの言語事情①  
El español en España. スペインのスペイン語と、方言や地域変種について詳細に検討する。
10. スペインの言語事情②  
Las lenguas de España. El castellano, el vascuence, el catalán y el gallego 四つのスペインの公用語について概観する。
11. スペイン語の歴史①  
ギリシア語、ラテン語からロマンス諸語、カスティーリャ語からスペイン語までの歴史の変遷をたどる。初回は Las viejas lenguas. 紀元前11世紀からイベリア半島で話されていた諸言語について概観する。
12. スペイン語の歴史②  
Los romanos en la península. ローマ帝国の属州であった Provincia Hispania におけるラテン語の変遷をたどる。
13. スペイン語の歴史③と試験  
Del latín al castellano. ラテン語から俗ラテン語を経て、現代スペイン語へと連なる言語の変遷を概観する。授業の振り返りと筆記試験を実施する。

※拓殖大学の授業時間は、1時限105分となっています。

#### 【授業の方法】

印刷教材を用いてスペイン語学の基本的な考え方に接する。受講者には各段落の要旨を日本語で発表してもらう。様々な現象の類似点相似点に着目しつつ日本語や英語その他の言語と対照する。

#### 【予習・復習】

- 予習：プリントで配布する教材を熟読して、要旨を日本語で纏めておく。  
復習と発展：①日本語との対照を試みる。  
②スペイン語の他の例を探す。  
③英語やその他の言語に類似の現象がないか調べる。

#### 【成績評価方法】

筆記試験の成績と授業参画（授業中の積極的発言や発展的学習の報告など）、課題の成果をプラス方向に加味する。期末の筆記試験90%、授業参画5%、課題5%。各授業及びBBでフィードバックする。

#### 【参考書、教材等】

- 教科書：教科書は使用しない。教材はプリントで配布する。  
参考書：岡田辰雄『現代スペイン語講座』東京：芸林書房，1996。  
Seco, Manuel. Gramática esencial del español. Madrid: Espasa Calpe, 1995.

※ この授業は、4/18（火）が初回です。